

平成10年10月25日(日)

第24回 越谷市民まつり

# 郷土研究会 展示出品紹介

『越谷市内の六地藏』

越谷市郷土研究会 菅波昌夫

『越谷市内にある指定文化財の板碑』

越谷市郷土研究会市内板碑調査グループ

# 越谷市内の六地藏

菅波 昌夫

・地藏信仰

釈迦が入滅したあと、五六億七千万年後、弥勒菩薩がこの世に出るまで無仏の世界とされる。その間を救う仏が地藏菩薩である。

人は悪が常に生ずる。その時に地藏の名を呼び、一心に帰依すれば苦から逃れられるという。

地藏菩薩は地獄におちた人を救い、解脱へと導く菩薩として信仰されてきた。

今はなき三途の河で迷う幼児を導く菩薩で、母親から無限の信頼がよせられた。

だれでも親しみを感じ、この世と死者を結び付ける仏として、地藏信仰は根強いものがある。

・六地藏

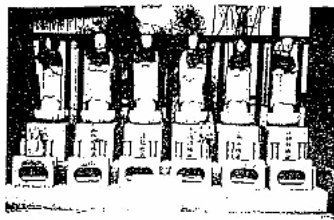
地藏はその功德をあらわすため、地獄、餓鬼、畜生、修羅人、天の六道に姿を現し、六道に苦しむ衆生を救おうと願を発した。

村落や墓地の出入り口に建立されることが多い。

祖先供養、子孫安穩、厄よけ、祈願成就、道しるべ、戦没者の冥福を祈るためである。



[大沢・光明院]



[大成町・観音寺]

- 一、地獄道 大定智慧地藏
- 二、餓鬼道 大徳清浄地藏
- 三、畜生道 大光明地藏
- 四、修羅道 清浄無垢地藏
- 五、人道 大清浄地藏
- 六、天道 大堅固地藏

越谷市内の六地藏

寺院	宗派	所在地
光明院	真言宗	大沢
清浄院	浄土宗	大南
玉泉院	真言宗	荻島
報土院	浄土宗	船戸
無量院	浄土宗	柳波
成就院	真言宗	柳川
智泉院	真言宗	川根
照起院	真言宗	曾根
観蔵院	真言宗	瓦生
清蔵院	真言宗	七浦
観音寺	真言宗	大成町
浄音寺	浄土宗	大成町
東福寺	真言宗	大東
金剛寺	真言宗	北谷
浄光寺	真言宗	北越

## 越谷市内にある指定文化財の板碑

市内板碑調査グループ(代表 富川進)

池田 仁・加藤富士代・武井福三郎・中沢正夫・中村 貢・原田民目・広瀬隆之・宮川 進

市内御殿町にある建長板碑が建長元年に立てられてから今年750年の節目の日年。

この建長板碑は越谷市の指定文化財となっています。そして市内には他に埼玉県指定となっているものが1基、市指定が6基あります。

◇建長板碑(越谷市指定)

御殿町にある。市内で最大、最古。阿弥陀の梵字一字が刻まれている。立てられた建長元年は、鎌倉市・建長寺の創建の年。あじさいで有名な明月院のもとを建てたり、謡曲「鉢ノ木」にもでてくる執権・北条時頼の時代。

◇天正3年・二十一佛・板碑(埼玉県指定)

増森1775にある。梵字により二十一佛を刻んだ板碑は山王二十一社の申待(さるまち)申の日を待つ)供養という民間信仰とが混ざった信仰によってできたもの。全国でも39基と少ないが、そのうち9基が越谷市にある。釈迦、弥陀、薬師、地藏……の二十一佛が梵字により刻まれている。これは天正3(1575)年8月銘のもの。この年は長篠の戦いのあった年。

◇文明3年・十三佛・板碑(越谷市指定)

増林2687の勝林寺にある。亡くなつた人の三十三回忌までをつかさどる十三の佛をあらわした梵字の刻まれた板碑。

文明3(1471)年の銘がある。これは室町時代、将軍・足利義政と忠仁の乱の時代。

◇文和3年・六字名号・板碑(越谷市指定)

相模町5丁目桜堂墓地にある。梵字ではなく漢字で「南無阿弥陀仏」と刻まれたもの。浄土宗・時宗系の念仏をと

なえる宗派の人々によって立てられることが多いといわれている。

この板碑は武蔵七党のうちの野与党の一族・大相模次郎隆高の子孫といわれる相模町・中村家に伝わるものである。文和3(1354)年正月吉日の銘がある。2年前の文和元年は足利尊氏が弟・直義を殺した年。

◇貞治6年・七字題目・板碑(越谷市指定)

大道39にある。「南無妙法蓮華経」という日蓮宗のお題目が刻まれている。越谷市では七字題目の板碑は、この1基だけ。元荒川から引上げられたものといわれている。

ほかに「南無多宝如来、南無釈迦牟尼佛」、「貞治6(1367)年6月20日」とある。翌年、元がほろび、明ができた。

◇天文22年・阿弥三尊圖像・板碑(越谷市指定)

大成町2-122にある。圖像板碑とは、佛の姿を絵に刻んだもの。市内には3基ある。

これには、天文22(1553)年庚申待供養の銘がある。2年後の弘治元年は川中島の戦いや殿島の戦い(毛利元就対陶晴賢)があった。

◇天正3年・二十一佛・板碑(越谷市指定)

東町5-1238の金剛寺にある。申待(さるまち)申の日を待つ(供養とも刻まれている。天正3(1575)年乙亥12月吉日とある。

▽板碑とは……

鎌倉時代に出現した供養塔の一種。みずからの死後の安楽を願うものが多いといわれる。武蔵系の板碑は秩父青石緑泥片岩を使っている。日本最古は、埼玉県江南町の嘉禄3(1227)年のもの。

参考としたもの

・越谷市の文化財第1集―指定文化財― S46・3 越谷市教委文化財調査委員会編集発行

・越谷市の文化財第8集―指定文化財― S56・3 越谷市教委発行

・越谷市の文化財 H2・3 越谷市教委発行